





# ホームページで地域の最新情報をチェック!

- ★地区のお知らせ…イベント開催など最新の情報を掲載
- ★地域情報紙…見逃した回覧板もこれで安心(最新号と前号を掲載)
- ★自治会員専用割引(Jichi Pass)の特典内容…割引内容が確認できます。
- ★自治会検索…住所から自治会が調べられます。
- ★メールマガジン機能搭載…メールアドレスを登録していただくと、各地区のメールマガジンをお届けします。

## こんな情報も!

イベント情報・防災マップ  
子育てマップ  
自治会連合会の発行物  
「自治会報さがみはら」  
バックナンバー  
各種パンフレット等

相模原市自治会連合会

検索 🔍



<http://www.sagamihara-jichiren.jp/>

携帯電話・スマートフォンはこちらからご覧いただけます→

## 家族みんなで使おう

# Jichi Pass

TSマーク、弁護士相談、人間ドック、試合観戦、  
レジャー施設、宿泊施設  
色々な割引や特典が受けられる、自治会員専用の割引です

- ▶TSマーク…自転車向け保険の点検費用が200円割引 市内31店舗
- ▶弁護士相談…45分間 特別料金5,000円→**3,000円**
- ▶人間ドック…JA健康管理センターさがみはら(橋本)  
相模野病院(淵野辺)  
ヘルス・サイエンス・センター(相模大野)  
でお得に受診できます
- ▶ホームタウンチーム…チケットの割引やチームグッズプレゼント
- ▶レジャー施設・宿泊施設…さがみ湖プレジャーフォレスト、  
東京サマーランド 他29施設
- ▶葬祭施設…セレモニーホール永田屋、サン・ライフ相模斎場  
他21施設

※自治会員専用割引(Jichi Pass)は毎年4月頃に自治会から配付しています。



## 自治会加入世帯証(シール)

災害時の助け合い!  
未加入世帯への加入促進に!  
自治会に加入したら、玄関ドアや  
郵便受けなどに貼りましょう。



相模原市自治会連合会

実寸大(6×6センチ)

## 人物紹介

「藤野在宅緩和ケアクリニック院長」、「藤野まちづくり会議副代表」としてご活躍されている、藤野地区にお住まいの石橋了知さん(49)にお話を伺いました。



石橋 了知さん(藤野地区)

### Q 相模原市にはいつごろからお住まいですか?

生まれは東京都の荻窪で、都内で生活をしていましたが、子どもにシュタイナー学園で学んで欲しいと考え、平成18年に藤野地区へ家族で越してきました。

### Q 在宅緩和ケアとは?

末期の癌や認知症、寝たきりの方など、病院に通うことが難しくなった方でも、きちんとした支えがあれば、ご自宅で過ごすことは可能です。いろいろなつらさを体や心に抱えていたとしても、ゆっくりお話ししたり、お薬を使ったり、環境を整えたりすることで、希望があれば最期のときまで穏やかにご自



診察台の無い、木のぬくもりを感じる診察室

宅で過ごすことはできます。医療と介護、そして地域と連携をとりながら、その希望を叶えていく事が在宅緩和ケアです。

### Q 在宅緩和ケアのクリニックを開業しようと思った理由は?

大学時代に、藤原新也著「メント・モリ(死を想え)」という本に出会い、身近な死について興味が湧き、関わりたいと思ったことが最初のきっかけです。死は病気ではなく、必ずしも病院で迎える必要はないはず

### Q 地域活動を始めるきっかけは?

地域活動こそ若い人もやらなければならないと思っています。始めてみると、いろいろな人との出会いや繋がりがあったり、役所や自治会の仕事などの新たな気づきがあったりと面白いですよ。一人の人が長く自治会長を務められるのも良いですが、いろんな人が自治会長を経験するのも面白いし、とっても良いことだと思います。

自治会長を経験した後も、来

るもの拒まずで、今はまちづくり会議の副代表を務めています。

### Q リフレッシュ方法は?

藤野は面白いことがあると、一人で独占せず仲間とシェアする輪がたくさんある地域だと感じています。友人とニワトリを30羽程度飼ったり、田んぼや畑を楽しんでいます。

### Q 大事にしていることは何ですか?

悲しいことですが、医療不信に陥ってしまっている方や、治らない病気になってしまったことによる辛さを抱える人はまだまだ沢山いると感じます。だからこそ、「関わった人が少しでも幸せになる」ことを大事にしたいと考えています。そのためには、言わなくてもわかるだろうではなく、「敢えてきちんと言葉にして伝えること」が大事なことのひとつと考えます。安心を感じてもらうためにも、一つ一つの言葉は大切だと思います。皆さんも、パートナーの方には、日ごろから思いを言葉に

してきちんと伝えた方がよいですよ。

### Q 今後の抱負をお聞かせください

高齢者の一人暮らしや孤独死が社会問題とされていますが、一人暮らしを否定的に捉えない、「ひとりでも暮らせるまち」にしたいです。施設でも病院でもない高齢者のシェアハウス「ホームホスピス」についての勉強会を開いたこともあります。いつか藤野で実現できればいいなと思っています。



緑の中の白い壁が印象的な診療所

藤野在宅緩和ケアクリニック  
在宅療養支援診療所  
住所 相模原市緑区名倉837-6  
電話 042-684-9166  
Eメール ishibashi@fujino-kanwa.com



昭和51年 基地返還問題では大蔵省へ陳情



自治は 笑顔と 協働から



平成10年 駅ビルと駅前 広場が整備 された(新舎)

昭和16年 相模原駅開業(旧舎)



昭和63年 創立20周年記念自治会長大会

# 市連のあゆみ

～ダイジェスト～

相模原市自治会連合会は昭和44年に発足して以来、平成30年度に創立50周年を迎えることとなりました。この記念すべき年に10年間の活動を記録に残すため、50周年記念誌「市連のあゆみ」の発行準備を進めております。

記念誌では、各地区のあゆみのほか、過去10年間の活動や特徴的な取組について掲載を予定しております。



平成21年から新任自治会長研修会を実施 (写真は平成29年度)



平成3年から市民まつりでの 自治会加入促進事業を実施

昭和44年 6月	相模原市自治会連合会発足
平成20年 4月	市連と城山町・津久井町・相模湖町・藤野町の各地区自治会連合会が統合
平成21年 6月	第1回新任自治会長研修会を開催
平成23年11月	市へ政策要望の提出
平成25年 8月	相模原市と連携基本協定を締結
平成25年10月	第1回相模原市自治会加入推進協議会を開催
平成25年11月	不動産3団体と相模原市における自治会への加入促進に関する協定を締結
平成27年11月	JAXA相模原キャンパスの地方移転反対について市へ要望書を提出
平成28年 2月	市連ホームページをリニューアル



平成23年から市へ毎年政策要望を提出 (写真は平成29年度)

市連創立50周年記念誌  
「市連のあゆみ」  
平成31年2月発行予定

## 定期総会が開催されました

6月2日(土) けやき会館において定期総会が開催されました。加山市長をはじめ、沼倉市議会議長及び戸塚市社会福祉協議会会長からの祝辞のあと、高野委員(橋本地区)及び廣瀬委員(麻溝地区)が議長に選出され、議事が進行されました。各地区から選出された委員(78名)の熱心な討論の結果、次の議案について可決・承認されました。



坂本会長の挨拶



定期総会の様子

- 議案** ①平成29年度事業結果報告 ②平成29年度収支決算報告 ③会計監査報告 ④平成30年度事業計画 ⑤平成30年度収支予算



監事 城山地区(緑) 山下 利麿



監事 大野中地区(南) 森 逸雄



会計 清新地区(中央) 田代 明寛



副会長 星が丘地区(中央) 竹田 幹夫



副会長 麻溝地区(南) 石井 正彦



副会長 橋本地区(緑) 草野 寛



会長 相模台地区(南) 坂本 義則



理事 大沢地区(緑) 中山 光明



理事 大野南地区(南) 大木 恵



理事 大野北地区(中央) 河本 博



理事 光が丘地区(中央) 割柏 秀規



理事 中央地区(中央) 牛尾 良一



理事 横山地区(中央) 吉田 貴亮



理事 小山地区(中央) 石井今朝太



理事 藤野地区(緑) 森川 哲郎



理事 相模湖地区(緑) 森久保眞二



理事 津久井地区(緑) 落合 勝司



理事 東林地区(南) 嘉松 皓



理事 相武台地区(南) 瀬尾 守一



理事 新磯地区(南) 穂刈 健二



理事 上溝地区(中央) 小林 充明



理事 田名地区(中央) 志村 勝美

私達が、平成30年度相模原市自治会連合会役員・理事です。各地区の自治会連合会から選出されました。

地域活動紹介【東林】

『森を愛してみんなで協力』

東林地区自治会連合会 副会長 古木 昇

通称「つま自然の森」は小田急江ノ島線沿いの相模原市と大和市にまたがる、5.6haの森です。その相模原市側が「東林ふれあいの森」です。相模原市の南の果ての東林地区は昭和20年以前、畑と雑木林が多く、杉林や松林は少ない地域でした。その後、宅地化と共に乱開発が進み畑も林も急激に減少し、残された林は粗大ゴミの捨て場となり、時には自転車まで捨てられました。「東林ふれあいの森」もそうした林の一つでしたが、市の呼びかけに応じて保全活動として東林間自治会のグリーンデイ(月1回)でゴミ撤去が始まりました。平成10年頃、アオキや棕櫚が異常に繁殖して見通しが悪く危険にもなってきました。「東林ふれあいの森を愛する会」が、東林地区自治会の協力のもとに発足されました。ボランティアでアオキや棕櫚を伐採撤去して、下草刈り、ゴミ撤去で植物の生態系維持がなされ、今では春に、キンラン、フデリンドウが咲き、小鳥も多くバードウォッチングができ、夏には虫の楽園です。また、近隣の学校教育の場としても利用され、多くの子供達が訪れます。



東林ふれあいの森



キンラン

地域の皆さんの長い間の努力が評価されて、平成28年には国土交通大臣により感謝状を授与されました。これからも東林地区の住民努力により幾世代にも渡ってこの森の姿が続くと思います。



国土交通大臣による感謝状

また、東林地区には「東林間サマーわぁ！ニバル」の阿波おどり、松が枝公園の桜まつり、東林間駅前のけんちゃん祭、各自治会の盆踊り、東林間神社、出雲神社の例大祭等々の行事が地区自治会連合会の行事とは別であり、楽しく住みやすい街です。地区内にバスは走っていませんが、それだけ何処も駅に近いのです。いつまでも、住みたい街です。

地域活動紹介【小山】

『相模原市と東京が近くなる』

小山地区自治会連合会 会長 石井 今朝太

1. 東京都と相模原市を結ぶ3路線の実現を

町田市と相模原市の道路計画として、緑区東橋本の宮上小学校で宮上横山線の道路計画説明会を聞いて早35年近くになる。諸事情の中、用地買収等を推進して現在85%の達成率になった。一つの事業を進めることの難しさを感じている。現在計画している、宮上横山線・宮下横山台線の2路線は、東京都と相模原を結ぶ将来に向けた夢の主要幹線道路となる。地元の協力を得て必ず実現して欲しい。

2. 相模総合補給廠一部返還地の開発が進む

小山地区のまちづくり懇談会のテーマは10数年間に渡り「相模原駅周辺の開発事業」について相模原市と協働で推進して来た。「このままいたら100年先」のスローガンを掲げ国へ返還要望・陳情・デモ行進等を実施してきて今日がある。平成29年4月返還地に南北道路が開通し式典が行われ、続いて平成30年3月東西道路が開通した。夢のリニアが宮下の地下を通り橋本駅へ、相模総合補給廠共同使用区域の一部で、スポーツ施設工事が着工し、JR横浜線の立体化と小田急多摩線延伸も市民の総意の元、広域交流拠点づくりを実現したい。



平成29年4月南北道路開通



平成30年3月東西道路開通

地域活動紹介【津久井】

『真夏の祭典「小網諏訪神社例大祭」』

津久井地区小網自治会 会長 小野沢 精一

毎年恒例の小網夏祭りが7月21日に晴天に恵まれ盛大に行うことができました。当日は、猛暑のなか熱中症の心配もありましたが、無事に終了することができました。

当祭りは、大人神輿、子供神輿、山車がそれぞれ1基ずつ運行されます。また、神社境内においては演芸大会も催されます。神輿、山車の運行については、地域の方々に当日の参加を募り多くの方が祭りを楽しめるように考えました。当祭りの自慢は、山車の飾りの豪華さや囃子保存会の皆様によるあざやかなバチさばきと演奏で、一見の価値ありと思っております。大人神輿、子供神輿、山車のそれぞれが自治会内を運行し、数多くの方々の目に留まるように考えて順路を決めました。

今後もこの行事を、時代に合わせた形に変化させながら後世にしっかり伝えていかなければと考えております。



むかし昔 No.60

中央地区(中央区)

元中央地区 老人クラブ連合会 会長 中村 雄次郎

『都市化に埋もれた防風林』

相模野台地は洪積世の地層で、5、6メートルから十数メートルに及ぶ赤土の地層から形成されている。相模川の氾濫源、下段、中段、上段の境、特に中段と上段の境は市域の中央を走る相模横山と呼ばれている。

昔から相模野台地は「八里橋なし」といい、広大な原野で長い間、居住者がいなかった。近代以降、徐々に開拓が進み、昭和になってから国の軍都計画によって県施行の相模原都市建設区画整理事業が始まった。陸軍士官学校や相模陸軍造兵廠を中心とする軍の施設が相次いで建てられた。

上段の開拓は、戦後の農地改革後に加速化した。しかし、土地が肥えていなく、乾燥すると風で土埃が舞いあがるので、その対策として上溝地区では、防風林用地を各生産組合の共有地として設置し、赤松を植えて生活環境を守った。このような背景のなか、都市計画で設計された横浜線淵野辺駅から相模線上溝駅までの土地は、鉄道用地分(上溝地区分)の防風林として、旧上溝農協が管理してきた。

時代が移り、相模原の都市化が進み、農地は住宅用地となるなか、昭和38年に市内一農協(現相模原市農協)が設立された。このとき、旧上溝農協の共有地(鉄道用地)に鉄道を引くための協議がされ、代表者が小田急

電鉄本社と再三に亘り話し合ったが、交渉は妥結しなかった。このため、鉄道用地の活用について農協の資産管理委員会で再度協議した結果、農協の組合員に売却することに決まった。こうして、長年に亘る防風林はその役目を終えたのである。

現代こそ、防風林のような緑の素敵なまち並みが必要ではないかと思う。



旧上溝地区の防風林



軍都計画による鉄道用地 写真は国土地理院撮影の空中写真(2008年撮影)より

ご案内とお願い

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせ

相模原市自治会連合会事務局 042-753-3419 E-mail:info@sagamihara-jichiren.jp

自治会報さがみはら編集 広報部会員

- 山下 利麿(城山) 石井今朝太(小山) 牛尾 良一(中央) 穂苅 健二(新磯) 嘉松 皓(東林) 矢野 信行(大沢) 澤柳 信幸(藤野) 丹波 晴道(清新) 長塚勇一郎(星が丘) 金子 行親(上溝) 中村 洋子(大野南) 寺沢 康則(麻溝)